

第 4 分 科 会

生涯現役、高齢期をゆたかに生きる
—いきがい、仲間づくり、社会保障 e t c—

助言者 佐々木 長（年金者組合県本部副委員長）

司会 大森 敬蔵

記録 福井 妙子



第4分科会 “生涯現役、高齢期をゆたかに生きる”

——いきがい、仲間づくり、社会保障 etc——

助言者・・・・佐々木 長
司会者・・・・大森 敬蔵
記録・・・・福井 妙子

参加者 10名

① 己紹介

- ・ A・・・新堀在住（年金者組合）
 - ・ B・・・（新婦人）
 - ・ C・・・栄在住（新婦人）無年金だが、介護保険自己負担は第6だい段階
 - ・ D・・・野火止在住（生活と健康を守る会）
 - ・ E・・・大和田在住
 - ・ F・・・（民商）
 - ・ J・・・東2丁目在住
-
- ・ 大森・・・本日の司会者、妻の介護に追われている
 - ・ 福井・・・本日の記録担当、新堀在住（年金者組合）、自身の裁判の報告
 - ・ 助言者、佐々木長さんの自己紹介
狭山市在住、71歳、現在 年金者組合県本部副委員長
趣味は囲碁・カラオケ
幼少の頃から結核を患っていた。日本患者同盟に加入
定年を迎えた後、近隣に知り合いがいなくということに気づき、それ以降は
あらゆるクラブに入った。（年金者・老人クラブ等）
今まで“運動”が仕事みたいにしてきた。正しく“生涯現役”である。

②問題提起

- ・ A・・・『消えた高齢者』TV報道だと所在不明（百歳以上）は350名に上る。
高齢者は外に出ない、コミュニケーションが取りにくい。
年金者組合の課題であり、行政への働きかけが必要。

- ・℃・・・国勢調査を行なっているのに、何故行方不明者が後を絶たないのか
- ・F・・・市から“個人情報”と言われ、死亡した人の確認が出来ない。
- ・J・・・民生委員は300世帯に一人の割合だが、高齢者社会になっていけば不足。
- ・司会者・・・一人世帯の高齢者を訪問しようと自治会で発言したが、誰も賛成してくれなかった。

★助言者より

- ・最近“消えた年金”から“消えた高齢者”になってきた。
- ・地域が崩壊してきた。市町村合併が多くなり、高齢者にとって住みにくい環境になってきている。
これを打開していくには、自治体が積極的に施策をとっていくことが大切。
- ・介護保険料や国保料を払いやすい金額にするためには、自治体に対し運動を強化していくこと。
- ・高齢者は主権者としての一票を投じ要求実現の一步に近づけること。
- ・デンマークと日本の福祉の違いは、高齢者組織率が高いことである。
- ・もっと高齢者の組織を大きくして、政治意識を高めて行きましょう。

《運動》

気楽に参加が出来るように遊びと文化を融合したやり方で進めよう。

肩肘張らずに“年寄りに優しい＝子育てに優しい”運動を

《耳学問》

高齢者になると活字に目を通すのは困難になるが、耳から正しい情報を入れることが重要。もっと耳学問をして、なぜ我々の生活が楽にならないのかを考えていくこと。(地域の賃金が低賃金である)

《目標》

“ 歩いて買い物できる街づくり、年金で暮らせる国づくり ”

日本は世界一のスピードで高齢化が進んでいる。

「人間が長生きしたらこのように幸せになるんだ！」と世界に示そう。

③ (その他)

- ・司会者・現代の若者は、物を申さない。昔、組合を作った高齢者が手本となるように立ち上がろう
- ・℃・・・私の住んでいる栄地域には、予防接種を受けられる病院が一か所だ

けです。都内隣接地域にも都内の医療機関で接種できるようにして
頂きたい（市への要望に追記）

- ・ B ・ ・ 定年後、姑の介護を 10 年間やってきた。大変だった。
活動している人に援助してもらえば・・・と言われたが皆多忙な人であ
った。やはり地域が一番、地域の人たちに助けて頂いた。今は近
所の人たち出来るだけ協力している。
今まで子どものため、社会のために貢献してきたので、今後どんな
姿になっても許してほしいと娘に言ったら、娘は「どんな姿になろ
うと母は母、心配しないでいい。」と言われたことが嬉しかった。
“今を豊かに楽しく元気に生きよう”と決意した。

【申し合わせ事項】

- 1、近隣、地域のネットワークを広げ、生活を豊かにし、福祉を充実させよう
- 2、生涯現役で楽しく過ごせるよう、後期高齢者医療制度の即時廃止を進め
ましょう。
- 3、孤立した高齢者をなくしましょう。上手に話し相手を作って地域と繋がり
仲間の助け合いは素直に受けましょう。
- 4、何か問題を感じたときは、反対なり批判の声をあげていきましょう。
- 5、最低保証年金制度の早期実現を目指しましょう。

【市への要望】

- 1、後期高齢者医療制度の即時廃止を新座市が率先してすすめてください。
- 2、介護保険の見直しや地域福祉の充実について、住民や高齢者の意見を反映
させ、市民参加をすすめてください。
介護保険料については、2012 年度以降の介護保険料について、市民が
払える保険料にしてください。

- 3、世界の流れである最低保障年金制度の確立と、年金の改善を国に要望してください。
- 4、医療保険、介護保険、住民税等を年金からの天引きはやめてください。
- 5、食費など生活関連で消費税をかけるのは福祉と矛盾します。消費税増税反対の声を国にあげてください。
- 6、肺炎球菌ワクチンや新インフルエンザワクチンの助成をしてください。
インフルエンザワクチンの接種については、都内隣接地域については、四市同様 都内医療機関で接種できるようにしてください。
- 7、国保税の引き下げをしてください。
国保税については、平成 22 年度において引き下げを行なって頂きましたが、市民が払える国保税になるよう、さらなる引き下げを行なってください。